

ジャンボリーを通して感じたこと学んだこと

富士第8団 水口笑見里

石川県珠洲市で開催された第17回日本スカウトジャンボリーに、私は静岡第7隊リッ班の班長として参加しました。場内プロや他県、海外のスカウトとの交流はとても良い経験になりました。また、エキスカーションプログラムにも参加でき「能登立国千三百年」の歴史を訪ねる旅ということで予め能登について調べていたのですが、展示館でのお話や展示品を実際に見ることでより知識を深められたと感じます。次の七尾城跡では五百年前に作られた石垣を見ました。何も加工されていない石が積み上げられたまま五百年経った今でもそこにあることが不思議な感じでした。能登食祭市場には地元の特産品や伝統工芸品が並んでいて、その写真を撮らせて頂いてお店の方とお話もできました。ジャンボリーの事を知って下さっていて我々スカウトをととても歓迎してくれていました。最後の総持寺では

お坊さんの高話を聞いた後に座禅の体験をしました。大変なものだと思っていましたが、終わった後はとても清々しい気持ちになりました。

今回のジャンボリーでは「結索日本一七人の部」で優勝できたことを含め、とても貴重な体験を沢山しました。スカウトの楽しさと同時に「ちかいとおきて」の実践、「モットーとスローガン」の大切さを改めて学べたこと、これからの活動でも忘れず更に頑張っていきたいと思います。